

「だれ一人とり残さない、姿勢で—

富山市議会  
6月定例会

2021年 6/10~6/30

# ワクチン接種の推進・加速を

日本共産党

コロナ封じ込めへ、対案示し強化を求める

4月の改選後はじめてとなる6月定例会で、吉田おさむ市議、赤星ゆかり市議が一般質問しました。両市議は、新型コロナウイルスを封じ込めるために、ワクチン接種の推進と戦略的なPCR検査の拡充について、具体的な対策を提案しました。

介護・障害者施設

## 通所・訪問系従事者にも 優先接種の拡大が実現

赤星市議は、まず「予約が取れない」などの苦情に、電話回線を増やすなどの対応を求めました。また、65歳以上の高



赤星ゆかり議員 (6/21 本会議)

年齢者の接種が「7月末完了」との見通しと発表したが、なぜ希望者を「70%」とみるのかと問いかけ、「だれ一人とり残さない」姿勢で取り組むべきだと強調。藤井市長は「インフルエンザなど過去の予防接種の実績はおおむね70%であり、目標を70%として、希望する人全員に受けてもらう姿勢だ」と答弁しました。

医療の訪問系は〇でヘルパーは×？

赤星市議は、医療従事者と介護施設の入所施設従事者は「優先接種」の対象になっているのに、通所・訪問系従事者が対象になっていないことを問題視。「訪問看護師は対象なのに、訪問ヘルパーは対象外なのか」との声を紹介し、障害者施設・高齢者施設に従事者すべてを優

先接種の対象に加えるよう求めました。5月の方針から大きく前進

田中福祉保健部長は「クラスターを防ぐために、優先接種の対象に加える」と答弁。民医連や日本共産党が申し入れた5月時点より、前進した姿勢を示しました。

保育士や教職員も優先接種を

また保育士や教職員なども優先接種を検討するべきとの提案についても「感染状況をみながら検討していきたい」と前向き答弁。7月に入ってその方向で検討が進んでいます。



赤星議員の質問動画

ワクチンは万能ではない

## 新規入院患者に、PCR検査を

クラスターを起こさせないために



吉田おさむ議員 (6/16 本会議)

が必要と提起しました。定期的なPCR検査に踏み出せ

県は、射水市の障害者施設での大規模なクラスターを受けて、6月7月に高齢者と障害者の入所施設従事者を対象にいつせいPCR検査を「1回きり」ですが実施します。吉田市議は「1回きりでは意味がない」というのが専門家の見解。今後、市として定期的な検査をやる考えはないか」と問いま

集団感染が起きるから遅い

吉田市議は、病院や介護施設のみならずから「新規の入院や入所者にPCR検査ができれば安心」との声を紹介。「集団感染」ができるまでの間「少なくともワクチン接種していない人を対象に、PCR検査を実施する考えはないか」と問いま



吉田議員の質問動画

田中部長は、疑いがある場合や感染が発生した場合に検査するが、入院時の検査で陰性であってもコロナの潜伏期間は2週間、その後、陽性にならない保証はないとして「検査を実施する考えはない」と答弁。吉田市議は、クラスターが起きてからでは遅い、他府県や県内の一部の民間病院でも実施しており、真剣に検討すべきだと求めました。

## コンパクトシティ政策で—

富山市議会は4月30日に臨時議会を開き、前市長が行った「専決処分」の承認などを行いました。その中に、中心市街地の再開発事業（保留床）にかかわる固定資産税の「軽減」（軽減率：住宅以外4分の3、住宅3分の2）を5年間から2年延長する条例改正案がありま

「コンパクトシティ政策は、持続可能な都市経営として内外から高い評価を受けており、さらに深化させたい。市民の理解は得られると考える」と答弁。赤星市議は討論で、「あまりにも中心部優遇で、市民の理解は得られない」と反対しました。

他の会派はすべて賛成しました。

◆平成28年度〜令和3年度の軽減額は、合計約6100万円（市資産税課調べ）

## 大型再開発ビルの固定資産税軽減

6年間で約6100万円も

やっぱり、中心部に優遇？

## ワクチン「見通し立たず」供給

日本共産党は、この間2回（5/26と6/28）コロナ対策について緊急申し入れを行いました。6月の申し入れでは、ワクチン接種のスケジュールを市民に周知する、優先接種に保育士や教職員



市に申し入れする吉田・赤星両市議 (5/26)

を加える、職域接種の接種券の送付を丁寧にするなど、ワクチン接種に絞りました。

福祉保健部は、「7月9日に64歳～60歳、基礎疾患のある人に接種券を送付する。しかし、国からのワクチンの供給量の見通しが立たない（少ない）」と述べ、接種券送付や予約のスケジュールが決められない状態であることを明らかにしました。

優先接種については、教育委員会などで検討が進んでいると述べました。

日本共産党が緊急申し入れ

●あなたのご意見ご要望をお寄せ下さい。

日本共産党 富山市議会報告  
市議会だより

2021年7・8月 No.184  
発行/富山市議会日本共産党

議員控室 TEL 076-443-2156 FAX 076-441-8418  
市議会ホームページ <http://toyamashigidan.jcpweb.net/>

富山市議会インターネット中継

検索

富山市議会インターネット中継(生・録画)もごらんください。  
ケーブルテレビは本会議当日の生中継のみです。

# 富山市の学童保育の「最低基準」

◎学童保育(子ども会を含む)の「最低基準」は、利用児童が明るくて衛生的な環境において、素養があり、かつ適切な訓練を受けた従事者の支援により心身ともに健やかに育成されることを保障する目的で、条例に定められています。



# 「生理の貧困」対策の具体化を

来年度から 生理用品を防災備蓄、更新時には無償配布へ

## おもな基準

- ① 面積は子ども1人 1.65㎡以上
- ② 一つの単位の利用者数は40人以下
- ③ 開所時間
  - (1) 小学校休業日 原則 8時間以上
  - (2) 平日 原則 3時間以上
- ④ 1年につき250日以上開所を原則

◇富山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例より (2014.4.1施行)



富山市内のある地域の「子ども会」

吉田市議は一般質問で、「学童保育」(子ども会)の拡充について取り上げました。

夕方5時までしか預かってくれないので、会社を抜け出して、別の学童クラブに送っている。「土曜日と夏休みが半日なので困る」という1年生の子を持つ親の声を紹介。吉田市議は、まさに「小1の壁」ではないかと提起。

富山市の「学童保育」(子ども会)は最低基準である「条例基準」(別

項)に対してどうか:平日の開所時間が17時までが13カ所(21%)、学校休業日は「半日」が18カ所(29%)、年間開設日数が250日以上は24カ所(39%)しかない指摘しました。

長年、「条例基準」を満たしていない

吉田市議は、「条例施行から7年経ったが、長年にわたって条例基準を満たさない状況が続いている」と強調し

藤井市長は、地域の力を借りて拡充に努めると抽象的に述べるにとどまり、強い決意表明もなく、具体的な拡充策にもまったく触れませんでした。

## 学童保育

# 抜本的拡充で「小1の壁」解消へ

## 市長のリーダーシップで、条例基準のクリアを

先般、新日本婦人の会県本部と富山支部は県と富山市に、すべての小中学校や公共施設の女子トイレに無償で使える生理用品の配置を要望し、県は、さっそく1千万円の予算を計上。赤

性別に関係なく選べる制服を。昨年の3月議会で赤星市議が質問した際には、ズボン、スカートなど選べる制服を導入している中学校はありませんでした。6月25日の総務文教委員会、赤星市議の質問に市教育委員会が答弁しました。

## 中学校女子 制服にスラックス 過半数の16校で導入



赤星市議の議員録音赤星市議会資料

赤星市議は「空襲体験者は高齢化し、直接お会いできる時間は多くない。やるべきことをしないで時を過ごすことは許されないと指摘し、年次計画を立てて専従職員を置くなどして、後世に語り継ぐため急いで真剣な取り組みを求めました。

また、市内外在住の体験者、研究者の方々

だいたいなのが、藤井市長は、「富山大空襲は本市における大きな史実であると重く受け止めている」としながらも、計画策定や専従職員の配置までは考えていない、岡地市民生活部長は、お寄せ

いただいた品々はデジタルアーカイブ化してホームページに掲載し、現物はお返ししている、市の施設で現物での保管、公開は考えていないと答弁しました。

## 学校などのトイレに常備を

赤星市議は一般質問で「生理の貧困」対策について、「コロナ禍で女性の貧困が深刻さを増し、生理用品の購入困難になってきている状況が報道などで明らかになってきた。これは貧困対策と同時にジェンダー平等の流れのなかでとらえるテーマだ」と提起。

赤星市議は、全国で256自治体が支援を実施していることを紹介し、富山市も具体的な対策を求めました。市教委の金山事務局長は、保健室に用意しており女子トイレには置かない、岡地

赤星市議は「空襲体験者は高齢化し、直接お会いできる時間は多くない。やるべきことをしないで時を過ごすことは許されないと指摘し、年次計画を立てて専従職員を置くなどして、後世に語り継ぐため急いで真剣な取り組みを求めました。

また、市内外在住の体験者、研究者の方々

だいたいなのが、藤井市長は、「富山大空襲は本市における大きな史実であると重く受け止めている」としながらも、計画策定や専従職員の配置までは考えていない、岡地市民生活部長は、お寄せ

一般質問では「コロナ対策のほか、赤星市議は「生理の貧困」、富山大空襲の資料収集、コンパクトシティ政策について、吉田市議は東京オリパラ、学童保育の拡充、周辺部の課題などを取り上げました。

## 富山大空襲の資料収集

## 市内外の体験者・研究者、市民と協力して 収集急ぎ、保管・公開・活用を



富山市が収集開始前に所蔵していた空襲の資料はわずか12点

赤星市議は「空襲体験者は高齢化し、直接お会いできる時間は多くない。やるべきことをしないで時を過ごすことは許されないと指摘し、年次計画を立てて専従職員を置くなどして、後世に語り継ぐため急いで真剣な取り組みを求めました。

また、市内外在住の体験者、研究者の方々

## コメ暴落対策、補聴器助成 — 日本共産党

## 意見書提出求める請願に賛成討論

### — 自民・公明などが反対し不採択

● **新型コロナ禍によるコメ危機の改善を求める**

吉田市議が賛成討論。コロナ禍による消費削減で在庫が増加。21年産米価も大暴落が懸念される。過剰在庫を市場から切り離すなど、政府に改善策を求めました。(請願者・農民運動富山県連合会)

● **加齢性難聴者の補聴器購入に公費助成を求める**

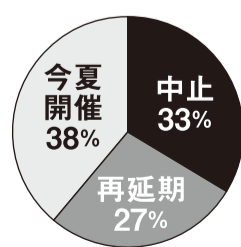
赤星市議が賛成討論。70歳以上の半数以上が難聴と推定。難聴になると、孤立しやすくなり、認知症にもつながる。国際的には補聴器の公費助成が実施されていると主張。(請願者・全日本年金者組合県本部)

討論の動画  
↑吉田議員の討論は5分30秒ごろから  
↑赤星議員の討論は57分13秒ごろから

## 東京オリ・パラ開催

## 藤井市長

東京オリンピック・パラリンピックをどうする?



朝日新聞都民世論調査 6/26・27実施より

吉田市議は、東京オリパラの開催について、専門家や国民の「感染拡大のリスクを拡げる」との懸念に対して、政府は何ら科学的根拠を示していないと指摘。藤井市長の所見を問いました。

市長は「感染拡大が懸念されるが、安全安心の大会へ努力されていると認識。五輪は平和の祭典。スポーツは、人々に夢と希望を与えるもの。富山市出身の代表選手の活躍に期待している」と述べました。

感染拡大は懸念されるが「スポーツは夢と希望を与える」